

モノづくりを大切にします

# ベンチャー・創造技術



社長  
山本 弘信氏

その成果となった装置が石油類、塩素系有機物質の漏れや相対濃度を簡易、迅速に検知できるVOC(揮発性有機物質)センサー装置だ。

## VOCセンサー装置

### 有機物の簡易計測 長期連続でモニタリング

この装置は、有機物のモニタリングにも対応する。空気中に設置してモニタリングできるほか、ボーリング後、検知プローブを土中に埋め

「今後は現在開発中の水中の有機物質の有無や濃度を検知できるセンサーとの併用で総合的な環境モニタリングに利用できる。市場規模はとも大きい」と今後の展開に期待を寄せる。  
(神庭芳久)

有無、濃度を検知する検知プローブと濃度などがデジタル表示される操作部からなる。検知プローブ内のセンサー素子は、シリコン基板上に有機物質のみ吸着する新規高分子膜をコーティングしている。

「この装置開発は前職で培った技術の成果の第一弾製品となる」と山本社長は説明した。研究で用いていた各種研究用機器を退職金で買い取った。また、研究員時代に出願したヘキストに帰属していた特許も独占的なライセンス契約を結んで新装置の開発に利用した。

## 前職の技術ムダにせず

「社長の理念に一步步近づいた」  
各種センサー開発ベンチャーのオー・エス・ピーの山本弘信社長はうれしそうにこう話す。

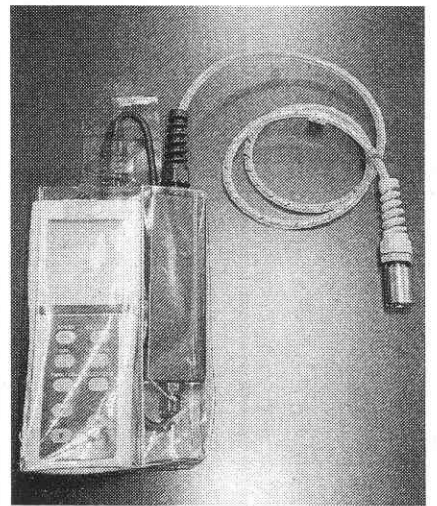
「この装置開発は前職で培った技術の成果の第一弾製品となる」と山本社長は説明した。研究で用いていた各種研究用機器を退職金で買い取った。また、研究員時代に出願したヘキストに帰属していた特許も独占的なライセンス契約を結んで新装置の開発に利用した。

「この装置開発は前職で培った技術の成果の第一弾製品となる」と山本社長は説明した。研究で用いていた各種研究用機器を退職金で買い取った。また、研究員時代に出願したヘキストに帰属していた特許も独占的なライセンス契約を結んで新装置の開発に利用した。

「今後は現在開発中の水中の有機物質の有無や濃度を検知できるセンサーとの併用で総合的な環境モニタリングに利用できる。市場規模はとも大きい」と今後の展開に期待を寄せる。  
(神庭芳久)

理念に近づく

環境汚染原因となる有機物質を調査するには、検知管や採取したサンプルをガスクロマトグラフィーや蛍光分析法を利用して検知する手法などが一般的に用いられている。しかし、新装置は長期、継続



環境汚染原因となる有機物質を現場で簡易、迅速に検出するVOCセンサー装置(独自開発の新規高分子膜素子と光検出技術を利用する)  
なる。膜厚と屈折率の初期数値と吸着後のそれぞれの数値の差や変化をモニタリングすることで有害物質を検知、濃度検査する。  
「この装置開発は前職で培った技術の成果の第一弾製品となる」と山本社長は説明した。研究で用いていた各種研究用機器を退職金で買い取った。また、研究員時代に出願したヘキストに帰属していた特許も独占的なライセンス契約を結んで新装置の開発に利用した。

「この装置開発は前職で培った技術の成果の第一弾製品となる」と山本社長は説明した。研究で用いていた各種研究用機器を退職金で買い取った。また、研究員時代に出願したヘキストに帰属していた特許も独占的なライセンス契約を結んで新装置の開発に利用した。

多モノづくり  
これに賭ける  
オー・エス・ピー

54

◇社長 山本弘信氏  
◇本社 埼玉県狭山市東三ツ木2の14  
(042-968-2280)  
◇資本金 二百万円  
◇売上高 五千万円  
(02年10月期見込み)  
◇従業員 四人

水曜日に掲載